

◇浄土真宗の源流

親鸞聖人は浄土真宗の教えを正しく伝えられた祖師として七人の高僧を選出されました。(83号)又この七人の高僧は釈尊がこの世に出現せられた本意は、唯々本願念仏のいわれを説くためであった(唯説弥陀本願海)と開明されました。と、親鸞聖人はお正信偈の中でもお諭しいただきました。

釈尊がこの世に出現されてから、親鸞聖人までの間は、時間的には約三千年の隔たりがあります。この間、数多くの仏教伝道者・聖者が出現されましたが、その中から特に七高僧をお選びになり、集大成として、「他力念仏」のおみのりを私たちに開示していただいたと味わいさせていただきます。

◇安楽寺墓地隣地ビル解体工事その後

No.82号でお知らせしました隣地ビルの解体工事は8月初旬で建物は完全に撤去され、現在更地に変貌されました。大型のクラッシャーをクレーンで吊り上げ屋上(8F)から解体工事が進行し、墓地への直接の影響もなく、ほっとしています。新築工事は9月からとの由、お含みおき願います。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

私どもが自力と
考えている全体が
他力の中にある
本多 弘之